

非破壊試験技術者資格試験（レベル1、レベル2）の 新規受験申請から資格証明書取得までの概要

ここでは非破壊試験技術者資格試験（JIS Z 2305：2013に基づく認証制度）のレベル1及びレベル2を初めて受験される方に、受験申請から資格証明書取得までの流れを簡単に説明してあります。説明内容については簡略してある部分がありますので、受験を希望される方は協会HPの「資格試験」のページの各案内を必ず確認してください。

本紙は、レベル3用の説明は行っていません。レベル3受験希望者は、HP内の「資格試験」ページの各案内を参照してください。

※ 最新の合格率、試験概要につきましては協会HP⇒「資格試験」⇒「NDTフラッシュコーナー」を参照してください。ただし、過去の記事についてはJIS Z 2305：2001に基づく試験制度の記事が大半となります。

Step1 受験する科目を決めてください。

資格には大きく8種類のNDT（非破壊試験）方法があり、レベルも3段階に分かれています。レベルは数字が大きくなるほど上位資格となり難易度が上がります。

NDT方法がわからない方は「イラストで学ぶ非破壊検査入門」などの出版書籍を購入し、検討してください。（協会HPの書籍・試験片・頒布品から注文書をダウンロードできます）

NDT方法	略称	設定レベル
放射線透過試験	RT	レベル1、レベル2、レベル3
超音波探傷試験	UT	
磁気探傷試験	MT	
浸透探傷試験	PT	
渦電流探傷試験	ET	
ひずみゲージ試験	ST	
赤外線サーモグラフィ試験	TT	レベル1、レベル2、レベル3※1
漏れ試験	LT	レベル1、レベル2、レベル3
限定NDT方法※2	略称	設定レベル
超音波厚さ測定	UM	レベル1
極間法磁気探傷検査	MY	レベル1、レベル2
通電法磁気探傷検査	ME	レベル1
溶剤除去性浸透探傷検査	PD	レベル1、レベル2

※1：TTレベル3は、2025年秋期試験より実施予定です。

※2：限定NDT方法とは、NDT方法の中の特定技術のみを対象とした試験となります。
（例）MYレベル1の資格者は、MTレベル1の技術の中の「極間法磁気探傷検査」のみを習得した技術者とみなされます。

Step2 受験申請に必要な訓練時間を満たす訓練証明書を準備してください。

受験申請を行う条件として、各NDT方法に訓練時間が設定されています。

NDT 方法略称		レベル 1		レベル 2			
				レベル 1 資格保持者		レベル 1 資格非保持者	
RT		40 時間		80 時間		120 時間	
UT		40 時間		80 時間		120 時間	
MT		16 時間		24 時間		40 時間	
PT		16 時間		24 時間		40 時間	
ET		40 時間		48 時間		88 時間	
ST		16 時間		24 時間		40 時間	
TT		40 時間		80 時間		120 時間	
LT	B-圧力法	24 時間	48 時間	32 時間	72 時間	56 時間	120 時間
	C-トレーサガス法	24 時間		40 時間		64 時間	
UM		20 時間		-		-	
MY		8 時間		16 時間		24 時間	
ME		8 時間		-		-	
PD		8 時間		16 時間		24 時間	

・ 訓練証明書とは訓練実施記録と訓練実施記録集計表を指します。

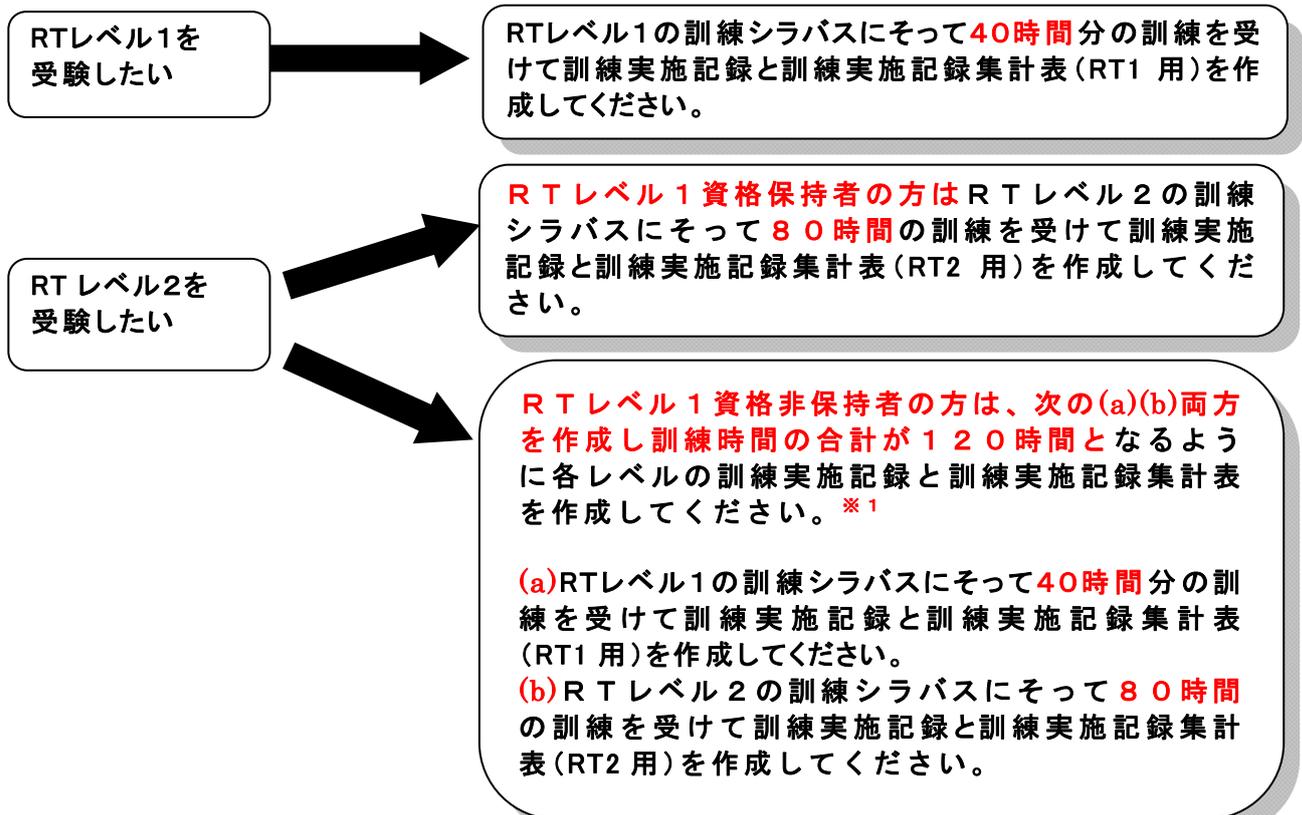
・ 訓練証明書は実施日から5年間有効となります

・ 訓練（講習会）は協会の業務課講習会係でも実施しています。受講希望者は、協会HPの「教育活動・講習会」にて日程を確認し、計画的に訓練を受けてください。社内等に訓練者がいる場合は社内教育を行い、訓練者に訓練実施記録を準備してもらう方法も認めていますが、訓練内容が適切であることを証明する訓練証明者（訓練を行うNDT方法のレベル2以上の資格保持者）が必要となります。

レベルごとの「訓練シラバス」に基づいた訓練を受けてください

RT受験のために受ける訓練は、レベルごとに訓練シラバスが定められており、そのシラバスの内容の訓練を受けてください。訓練シラバスに記載のない訓練は、要求される訓練時間の対象にはなりませんので、ご注意ください。シラバスの各項目に規定された「最低限必要な訓練時間」を必ず満足させ、要求された訓練時間を満たすように訓練を受けてください。

※各レベルの訓練シラバスの詳細は、協会HPの「新規訓練についての案内」にてご案内しております。



RTレベル2の受験に要求される訓練は、RTレベル1に要求される訓練が終了していることが前提ですので、直接レベル2を受験する場合は、RTレベル1とRTレベル2のそれぞれのレベルのシラバスにそった訓練実施記録と訓練実施記録集計表(計120時間)が必要です。

Step3 受験申請書をダウンロードしてください。

HPに掲載される日程表で試験日と試験実施地区を確認し、受験可能であれば『新規受験申請書』と『様式V-1 JIS Z 2305:2013「非破壊試験技術者の資格及び認証」に関する視力検査証明書』をダウンロードしてください。

Step4 受験申請を行ってください。

※一度申し込まれた受験申請について、キャンセルは認められませんのでご注意ください。

受験申請書に必要事項を記入し顔写真※²(1枚)を貼り、NDT方法ごとに必要な時間を満たした訓練証明書と『様式V-1 JIS Z 2305:2013「非破壊試験技術者の資格及び認証」に関する視力検査証明書』を添付のうえ、受験申請受付期間に簡易書留で受験申請書を送ってください。

※²顔写真：申請書類に貼付する顔写真は、脱帽、正面、上半身(バックは無背景)
縦30mm×横24mm、6か月以内に撮影したものを必ず使用してください。
又、印画紙は写真専用のものを使用し明瞭なものに限ります。

Step5 受験票と請求書等の送付

受験申請書の必要条件を満たし受理された方に対し、試験日の約2週間前、申請されたNDT方法・レベル毎に封筒[受験票・調査票、受験会場地図、払込用紙(請求書)]が郵送されます。申請した受験科目と試験会場であることを確認して、試験日までに受験料を郵便局又はコンビニエンスストアで払込みしてください。

受験料は1NDT方法・1レベル18,700円(税込)です。

(例)UTレベル1、UTレベル2を受験申請した方には、2通の封筒が届きます。

各封筒に同封された払込用紙(請求書)でそれぞれ払込みしてください。[18,700円(税込)×2件]

Step6 受験票に顔写真の貼付と署名をしてください。

JSNDI 認証事業本部より届いた受験票及び試験当日に回収される調査票それぞれに顔写真※²(2枚)を貼り、署名欄に自筆署名を行って試験日に持参してください。

<注意>本人と確認できない写真の場合は、試験当日に受験をお断りすることがありますのでご注意ください。

Step7 一次試験(筆記)

受験票に記載されている受験会場(日時)で一次試験を受けてください。

試験内容は、一般問題と専門問題があり、それぞれ70%以上の得点が合格となります。

Step8 一次試験合否通知

試験日から約1か月後に合否結果が送られます。

合格した人は二次試験を受験することができます。合否通知に記載されている二次(実技)試験の会場と日時を確認してください。合格者には二次試験の実施要領と会場地図が同封されます。

Step9 二次試験(実技)

一次試験で使用した受験票を持参し、合格通知書に記載された受験会場(日時)で二次試験を受けてください。各試験体で70%以上の得点が合格となります。

レベル2はNDT指示書作成においても70%以上の得点が必要です。

Step10 二次試験合否通知

合否結果が送られます。(春期試験は7月下旬頃、秋期試験は1月下旬頃)
合格した人には新規認証申請書が同封されます。

Step11 新規認証申請書送付について

合格通知書に同封された新規認証申請書に必要な事項を記入し顔写真^{※2}(1枚)を貼り、
期限日までに簡易書留で郵送してください。新規認証申請をするには住民票の写し^{※3}
の提出とNDT方法ごとに指定された経験月数を満たしている必要があります。

^{※3}他のNDTの資格証明書を保持していない場合は、住民票の写し(コピー不可、発行日より6か月以内のもの)が必要となります。

新規認証申請に必要な経験月数

NDT方法略称	レベル1	レベル2	
		レベル1資格保持者	レベル1資格非保持者
RT	3か月	9か月	12か月
UT	3か月	9か月	12か月
MT	1か月	3か月	4か月
PT	1か月	3か月	4か月
ET	3か月	9か月	12か月
ST	1か月	3か月	4か月
TT ^{※1}	3か月	9か月	12か月
LT ^{※1}	3か月	9か月	12か月
UM	2か月	-	-
MY	1か月	2か月	3か月
ME	1か月	-	-
PD	1か月	2か月	3か月

Step12 新規認証申請に対する審査結果通知

申請された審査結果が郵送されます。

Step13 新規認証申請料

審査の結果、適格となった方には、認証申請料 14,300 円(税込)の払込用紙(請求書)が同封されますので支払いを行ってください。

Step14 資格証明書送付

資格証明書が協会より送られます。

資格証明書は最初に登録してから5年間有効です。5年目を迎えるときに[更新]手続きがありますので、書類手続きを行うと5年間(計10年間)延長されます。10年の有効期間の完了前、資格証明書の保持者は[再認証試験^{※4}]に合格し手続きすることにより、5年間有効の資格が発行されます。

以降は[更新]→[再認証試験]→[更新]→・・・の繰り返しとなります。

^{※4}10年目を迎える有効期限の約半年前に、受験申請する機会が1回与えられる。(再認証試験に不合格となった者は、約6か月の間に2回の再認証再試験の受験機会が与えられる。)

◆ 試験～登録～更新～再認証試験の日程概略 ◆

試験は春と秋の年2回実施しています。下記に日程概略を記しますので参考にしてください。ただし、試験の流れ、料金、日程は規則改正、他の事情等により変わる可能性がありますので、必ず協会HPにて最新のものをご確認ください。
本資料は、JIS Z 2305:2013に基づく内容です。規格の改正等により資格及び認証制度が改正された場合、変更等もありますので予めご了解ください。

Step		料金 (税込)	新規試験	
			春期試験	秋期試験
1	受験科目を決める		受験者各自で受験するNDT方法・レベルを決めて、必要な訓練を受けて訓練証明書を準備しておく。	
2	訓練証明書準備			
3	受験申請書(ダウンロード)	無料	1月上旬～2月上旬	7月上旬～8月上旬
4	受験申請書提出	—	1月下旬～2月上旬	7月下旬～8月上旬
5	受験票送付	—	3月中旬	9月中旬
	受験料払込み	18,700円	試験日前日まで	試験日前日まで
6	受験票の準備	—	試験日前日まで	試験日前日まで
7	一次試験	—	3月下旬	9月下旬
8	一次試験可否通知	—	4月下旬	10月下旬
9	二次試験	—	5月上旬～6月下旬	11月上旬～12月下旬
10	二次試験可否通知	—	7月下旬	1月下旬
11	新規認証申請受付	—	7月下旬～8月上旬	1月下旬～2月上旬
12	新規認証申請結果通知	—	9月上旬	3月上旬
13	認証申請料払込み	14,300円	9月	3月
14	資格証明書送付	—	認証申請料入金後、所定日に資格証明書を発送 (例) 2016/10/01 有効開始 2021/09/30 有効期限	認証申請料入金後、所定日に資格証明書を発送 (例) 2017/04/01 有効開始 2022/03/31 有効期限
合計		33,000円	1NDT方法・レベル取得につき必要な受験及び登録費用。	
更新手続き		7,700円	有効開始5年目 (例) 2016/10/01 有効開始 2021/09/30 有効期限	有効開始5年目 (例) 2017/04/01 有効開始 2022/03/31 有効期限
再認証試験 10年目を迎える有効期限の約半年前に、受験する機会が1回与えられる。(再認証試験に不合格となった者は、約6か月の間に2回の再認証再試験の受験機会が与えられる。) ※再認証の試験時期は新規試験の受験時期と異なります。		18,700円 (1回)	有効開始10年目 受験機会 (例) 2021/09/30 有効期限 2021年春期に再認証試験	有効開始10年目 受験機会 (例) 2022/03/31 有効期限 2021年秋期に再認証試験
再認証登録手続き		14,300円	有効期間5年 (例) 2021/10/01 有効開始 2026/09/30 有効期限	有効期間5年 (例) 2022/04/01 有効開始 2027/03/31 有効期限
以降は5年周期で更新と再認証(試験)の繰り返し		—	⋮	⋮

※料金及び日程につきましては、変更となる場合がございます。

※料金は全て税込(2025年1月現在)

最新の情報につきましては、HP等にて当該試験期の案内をご確認ください。